

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日				
調書番号	06-01	所管部	農政部		作成責任者	農村振興局農地整備課長 榎 研一		
				担当係	水田整備係（内）27-568			
<b>I 基本事項（基準日時点）</b>								
事業種別	道営土地改良事業費（農地整備事業（経営体育成型））							
ふりがな 地区名	ほくりゅうみなみいち 北竜南1	市町村名	北竜町・雨竜町		総事業費	4,439 百万円		
負担割合	国	55.0%	道	32.5%	市町村	-		
		2,441 百万円		1,443 百万円		- 百万円		
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●良質米の安定生産及び転作作物の生産性向上を図る。</li> <li>●農作業効率の向上及び水管理の合理化により労働時間の縮減を図る。</li> <li>●担い手への農地集積を図る。</li> <li>●安全・安心な食の生産をささえる。</li> </ul>							
	【アウトカム】等 ●事業実施前（H29年（2017年））の担い手農地利用集積率（受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合）は79.2%だが、本事業を実施することにより事業完了翌年には81.9%と上昇が見込まれる。							
事業概要	本地区は北竜町の市街地を流下する恵岱別川の左岸に位置する平坦地帯で、水稻を主体としてそばや大豆等の転作作物を作付けしており、生産性の高い農業基盤の確立を目指している。本事業では、区画整理により現況40a程度の区画を85a程度の規模へ大区画化し、併せて暗渠排水、客土、用排水路などの総合整備を行う。	工事費内訳	受益面積	446ha → 447ha	(百万円)	(百万円)		
			受益戸数	37戸 → 35戸	前回評価	今回評価	増減額	
			○用水路	23,767m	1,198	1,722		
			○排水路	3,237m	126	160		
			○区画整理	283ha → 286ha (整地、暗渠排水、客土)	1,392	1,725		
			○測量試験費		557	769		
			○用地補償費		27	63		
			計		3,300	4,439		
						1,139		
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名			
		経済・産業	農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり	農業農村整備の推進			
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】（生産基盤の強化）スマート農業技術や高収益作物の導入を容易とするほ場の大区画化や農地の排水対策など、農業の生産力と競争力の強化に向けた整備を推進する。						
	関連する指標	食料自給率（カロリーベース） 令和12年度（2030年度） 目標値：268%						
<b>II 公共事業評価経過</b>								
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費		
	事前評価又は当初	H30 (2018)	H30 (2018)	H28 (2016)			H38 (2026)	総事業費 (a)
	前回再評価							道負担額
	今回評価			R5 (2023)			R8 (2026)	5
						当該年度事業費		
						累計事業費 (b)		
						進捗率 (b)/(a)		
						65%		
変更理由・内容（概要）	(1) 農地流動化に伴うほ場追加による増額 (2) 確定測量及び買収費の追加による増額 (3) 自然増及び消費税率変更による増額							
<b>III 事業採択前の状況</b>								
1. 事業採択に至る経過と背景	本地区の整備は昭和40年代に道営ほ場整備事業等で1次整備が行われ、その後平成10年代に2次整備として経営体事業や中山間事業で部分的な改修が行われてきたが、暗渠排水や用排水路の機能低下が著しい上に作土厚が不足しており、作物の生育不良や品質低下が生じている。また、ほ場が小区画であることも相まって大型機械による農作業の支障となっていることから、暗渠排水、用排水路の整備や客土による作土厚の確保とともに、ほ場の大区画化整備を行うことにより、作物の収量・品質の確保、作業効率の向上を図るため、平成27年（2015年）に北竜土地改良区より事業採択に向けた要望が出された。							
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●H27年（2015年）6月 北竜土地改良区から空知総合振興局へ整備要望</li> <li>●H28年（2016年）5月 総合振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始</li> <li>●H29年（2017年）11月 土地改良法に基づき事業申請</li> <li>●H30年（2018年）4月 事業採択</li> </ul>							
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	●北竜町・雨竜町 受益面積 446ha→447ha 受益戸数37戸→35戸							
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費 (百万円)	事業内容			

#### IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画												
施工(工種)区分	工事内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	進捗状況	事業費(百万円)
用水路	L=23,767m				L=13,882m				L=9,885m		48%	1722
排水路	L=3,237m				L=1,842m				L=1,395m		40%	160
区画整理	A=286ha				A=216ha				A=70ha		75%	1725
測量試験費	調査・設計				実施設計・施工管理等				施工管理等		84%	769
用地費及補償費	用地買収・電柱移設				用地買収・電柱移設				電柱移設		57%	63
												0

(2) 進捗状況

●事業は概ね予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。

**b** a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。  
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R5 現在	項目	R5 現在	
	作物生産効果	4,959	農業用排水施設	2,591	・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省R4改正)に基づき算出。 ・効果は、「事業ありせば」「事業なかりせば」の比較による作物生産の増減、作物品質の向上、営農経費及び維持管理費の削減ほか、災害(洪水等)の発生に伴う農作物等の被害が防止又は軽減される効果、国産農産物の安定供給に対する「安心感」を貨幣換算により算出 ・経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR5年度に現在価値化しているため事業費と異なる。 ・農業用排水施設と接続する上位用排水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。 ・維持管理費削減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の増減の合計より、マイナスとなる。
	品質向上効果	2,737	区画整理	2,409	
	営農経費削減効果	1,981	関連施設	2,884	
	維持管理費削減効果	△ 333			
	災害防止効果	7			
	国産農産物安定供給効果	625			
	合計(B)	9,976	合計(C)	7,884	
	B/C	前回算定年度 : H28年度(2016年度)【事前評価】 前回算定時B/C: 1.61(合計(B): 7,589 合計(C): 4,696)			
	R5 現在	変更理由: ・営農経費削減効果算定時の用水なかりせばシナリオの変更による総便益額の増加 ・事業費増加に伴う総費用の増加 ・諸係数・単価等の時点修正による効果額の変更			
	1.26				

3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
		施工の最適化	整地工における突均し工法の採用。

#### V 評価

1. 必要性	●本地区は、前歴事業としてほ場整備等により整備が行われ、その後道営経営体、中山間により二次整備が行われているものの、経年変化から暗渠排水、農業用排水施設の機能の低下に対応することが急務となっている。よって、農業用排水施設、区画整理の事業を一体的に行い、農業生産性の向上を図るとともに担い手農家の経営体基盤強化へ向け優良農地の利用集積を図るものである。 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。					
	<b>a</b>	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。				
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	●本地区は北竜町及び雨竜町が作成した田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられている。 ●下流河川の生態系への配慮のため、降雨時の施工中止など、濁水が発生しないよう施工を行っている。					
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向					
3. 事業達成の見込み	●事業着手以降毎年、事業促進期成会を通じて早期完成に向けた要望が行われている。					
	(3) その他の課題					
	●特になし					
4. 対処方針	●今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はなく、予定年度での事業達成が見込まれる。					
	<b>a</b>	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	●事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和8年度の完成を目指して事業を継続する。					
	<b>a</b>	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止				
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有

## VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：平成28(2016)年度評価 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C=1.61 再評価：該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

## 補足資料

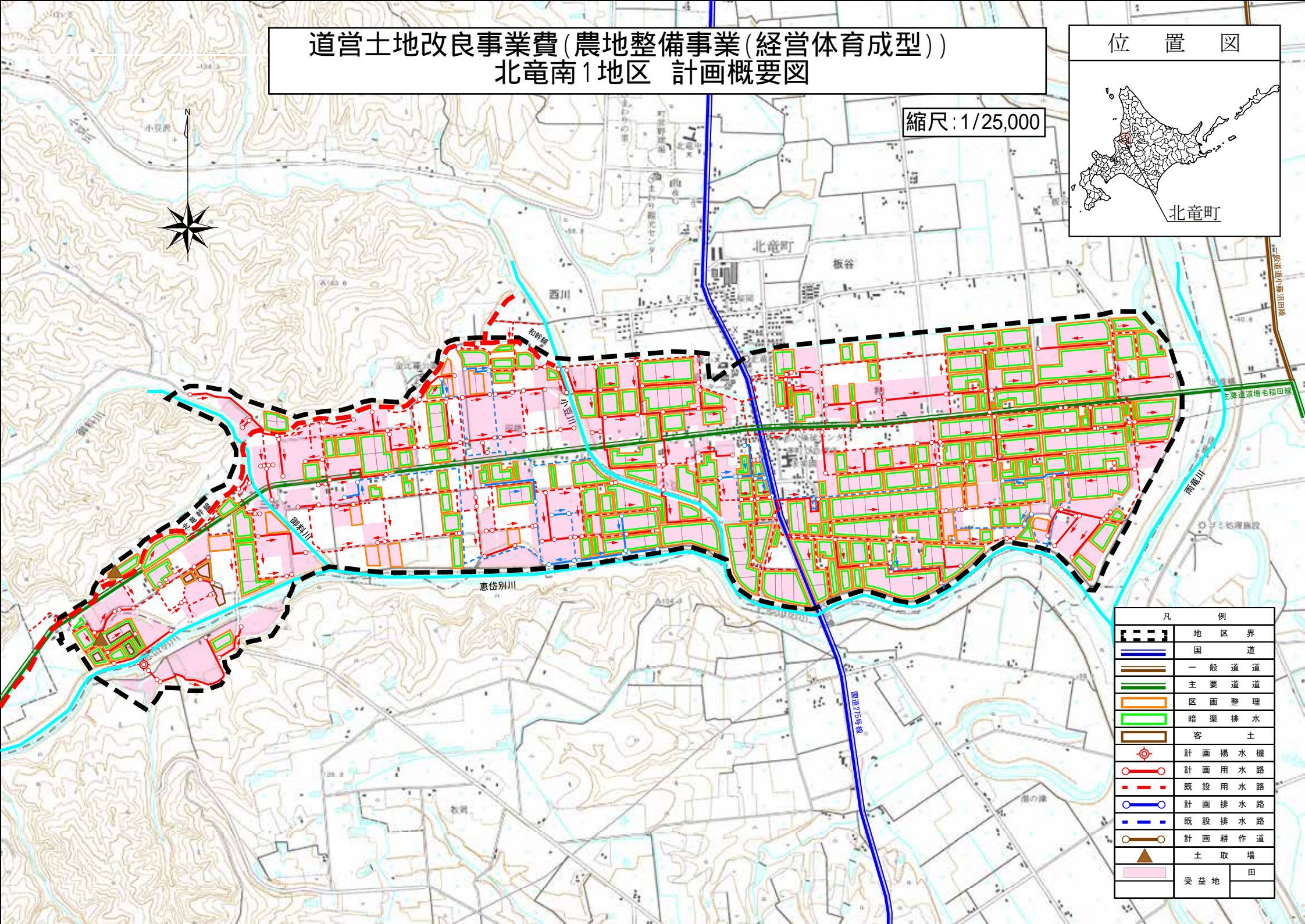
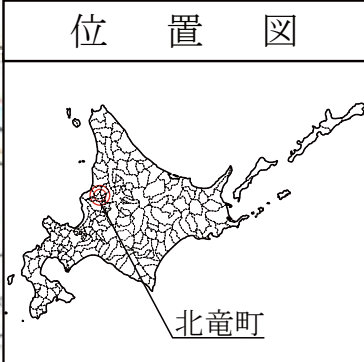
### VII 事業計画変更

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費(b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H30 (2018)	H30 (2018)	H28 (2016)		H38 (2026)	5	3,300			
変更①		H30 (2018)	H30 (2018)		H29 (2017)	H38 (2026)		3,570			
変更②	1回目			R5 (2023)	R3 (2021)	R8 (2026)		4,439	597	2,864	65%
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	変更①：総事業費の変更（事前評価から採択申請までの変更） ・区画整理について、ほ場区画割り及び施設配置見直しによる事業費の増  変更②：事業内容・総事業費の変更 ・区画整理について、農地流動化により取得した農地を一体的に整備することによる事業量・事業費の増 ・用水路について、詳細測量の結果、新たに用地確定測量及び用地買収費が必要になったことによる事業費の増 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による事業費の増										



# 道営土地改良事業費(農地整備事業(経営体育成型)) 北竜南1地区 計画概要図

縮尺: 1/25,000



凡 例	
	地区界
	国 道
	一 般 道 道
	主 要 道 道
	区 画 整 理
	暗 渠 排 水
	客 土
	計 画 揚 水 機
	計 画 用 水 路
	既 設 用 水 路
	計 画 排 水 路
	既 設 排 水 路
	計 画 耕 作 道
	土 取 場
	受 益 地
	田

